

政府、結局「保険証の持参」を呼びかけ 世論調査「廃止反対」7割超 「保険証残して」の声広がる

「保険証廃止法」が成立しましたが、成立後もマイナンバーカードへの誤登録が次々と発覚し、国民の不安・不信は大きくなっています。

全国の保険医協会の調査で、マイナ保険証での資格確認ができず、10割負担を求めたケースが約800件発覚(4月以降)しました。この事実を厚労省も重く受け止め“無保険”扱いを発生させないための対策が様々に打ち出されています。運動の一定の成果と言えますが、これらの“対策”はそもそも保険証を存続させれば必要のないものであり、結局は政府も保険証を持参しての受診を呼びかけています。

医療機関・国民に無用な混乱をもたらす保険証の廃止は撤回しかありません。協会・保団連では、秋の臨時国会に向けて引き続き署名を集めています。もう一回りのご協力を何卒宜しくお願い致します。

新たに示される「対策」は行き当たりばつたりのものばかり!

保険証の存続が最も簡便です!



下記署名にご協力をお願いします。【送信先FAX06-6568-2389】

FAX06-6568-2389

大阪府保険医協会

衆議院議長・参議院議長 殿

「現行の健康保険証を残してください」請願署名

【請願趣旨】健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされます。国民も、患者も、医療機関も望んでいないマイナ保険証の一本化はただちにやめて、現行の健康保険証を残してください。

【請願事項】 一. 現行の健康保険証を残してください

住 所 :

医療機関名 :

氏 名 :

※ゴム印でも結構です。
当会で代筆して提出
いたします。

医療機関での患者(スタッフ)向け署名に

協力する → 署名用紙(5名連記)()枚、解説リーフ()部

※患者向け署名への協力が難しい場合でも、上記の会員署名へのご協力をよろしくお願いいたします。

秋の臨時国会で提出(10/19予定)します。引き続きのご協力をお願い致します。